

上下水道部長マニフェスト

上下水道部長 山田 雄彦
(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

私の思い

上下水道部では、災害に強く快適な生活環境のまちづくりのため、今年度も引き続き水道事業・下水道事業を進めてまいります。

【水道事業】

水道事業につきましては、高度経済成長期に整備された水道管路や施設の老朽化に伴う更新が課題となっている中で、人口減少、節水機器の普及、節水意識の向上などから使用水量が年々減少し、それに伴い収益が減少しております。そのため今後の経営状況が厳しくなることが予測されますが、「柏原市水道ビジョン」に基づき、災害に強い水道システムの再構築を計画的に進め、市民の方々に安全で良質な水道水を安定的、効率的に供給してまいります。

【下水道事業】

下水道事業につきましては、平成 28 年度からスタートする「公共下水道整備第 7 次五箇年計画」に基づき、汚水整備、浸水対策、生活排水対策の各事業を進めてまいります。

汚水整備につきましては、計画的な整備により、生活環境の改善と公共用水域の水質向上を図ってまいります。

浸水対策につきましては、浸水被害から市民の方々の生命、財産を守るため、老朽化が進んでいる雨水ポンプ場施設の更新に向けた準備を進めるなど、突発的な大雨による浸水被害の軽減に向けた対策を進めてまいります。

生活排水対策につきましては、平成 27 年度に引き続き、今年度も下水道整備計画区域外における市町村設置型の浄化槽整備推進事業を進めてまいります。



(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

重点課題

- ① 水道管路・施設の効率的な整備、更新の推進
- ② 公共下水道整備第 7 次五箇年計画の推進

水道管路・施設の効率的な整備、更新の推進

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

遂行目標

- ・水道管路の老朽化、耐震化対策として、緊急遮断弁設置計画関連工事の円明第一配水池からの流出管の更新を含めた水道管路の更新・整備を行います。
- ・危機管理対策として、自己水の安定確保を図るため井戸の耐震診断を行います。
- ・安定した配水を行うため機械及び電気設備の更新を行います。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトプット (活動指標)

- ・水道管路の約 3 km の更新を行います。
- ・耐震診断が必要な玉手浄水場内の 1 号井戸、2-1 号井戸の耐震診断を行います。
- ・新安堂配水池の計装制御盤と田辺配水池の配水流量計の更新工事を行います。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトカム (成果指標)

- ・平成 28 年度末では、管路延長約 256 km の内約 97 km が耐震化され耐震適合率は約 37.9% となります。
- ・2 個所の井戸につきましては、地震発生時における安全性の検証ができます。
- ・新安堂配水池及び田辺配水池の配水区域における給水の安定性が向上します。

公共下水道整備第7次五箇年計画の推進

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

遂行目標

- ・汚水整備の推進につきましては、平成 32 年度末の下水道人口普及率 87.6% の目標に向け、未整備区域の汚水整備を進めます。
- ・平成 30 年度完成を目標に、市民が大雨時、安全に避難できるよう、浸水被害の危険レベルを示す内水ハザードマップ作成の準備を進めます。
- ・平成 25 年 7 月から平成 35 年 3 月末までの 10 年計画において、概ね 300 基の浄化槽の設置及び維持管理を行い、生活排水対策を進めます。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトプット (活動指標)

- ・平成 28 年度において約 5 ヘクタールの汚水整備を行います。
- ・内水ハザードマップ作成に必要な柏原地区の既存管調査を行います。
- ・平成 28 年度は 10 基の浄化槽の設置を行います。

(作成日) 平成 28 年 4 月 22 日

アウトカム (成果指標)

- ・汚水整備を進めることにより、平成 28 年度末では、人口普及率約 85.5% となります。
- ・既存管調査をすることにより、内水ハザードマップ作成に必要な浸水シミュレーションの準備が整います。
- ・平成 25 年 7 月から平成 28 年度末までの 4 年間で、合計 70 基の浄化槽設置ができます。